



子育て通信 カナリヤ

発行 第321号 2022. 7. 1.

時津町子育て支援センター『こばとの家』
長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 1000-10
支援センター TEL095-882-7455
保育園 TEL095-882-4559
FAX095-882-4901
ホームページ
https://www.togitsukobato.jp

親子製作～お父さんへのプレゼントを作りました～



「足型もとったよ～」



『虹～約束のしるし～』

時津こばと保育園

園長 嘉村 望

にわのシャベルが 一日ぬれて
雨があがって くしゃみをひとつ
くもがながれて 光がさして
みあげてみれば

ラララ にじがにじが
空にかかって
きみのきみの 気分もはれて
きっと明日は いい天気
きっと明日は いい天気

せんたくものが 一日ぬれて
風にふかれて くしゃみをひとつ
くもがながれて 光がさして
みあげてみれば

ラララ にじがにじが
空にかかって
きみのきみの 気分もはれて
きっと明日は いい天気
きっと明日は いい天気

あの子のえんそく 一日のびて
なみだかわいて くしゃみをひとつ
くもがながれて 光がさして
みあげてみれば

ラララ にじがにじが
空にかかって
きみのきみの 気分もはれて
きっと明日は いい天気
きっと明日は いい天気

にじがにじが空にかかって
きみのきみの 気分もはれて
きっと明日は いい天気
きっと明日は いい天気

きっと明日はいい天気

「にじ」
～作詞：新沢としひこ～

雨の多い梅雨の時期、雨上がりの空を見上げて虹がかかっていると幸せな気持ちになります。虹を見るたびにノアの箱舟の話を出します。神さまは、洪水の後、「この地上に生きるすべての命を祝福する」と約束のしるしとして虹をかけて下さいました。

虹は「平和のしるし」であり、神さまの「約束のしるし」と表現されることが多いのではないのでしょうか。

レインボーフラッグは LGBT をはじめとする性的マイノリティの差別や暴力の解消や多様性と人権の尊重の共通のシンボルともなっています。

今日もまだ世界の各地で戦争により、武器を使って大切な命を傷つけています。

一人ひとりの違い、多様性を認め合い神さまに与えられた命を大切に、前向きに進んで行けますように…。

一日も早く、戦争が終わり、希望を失うことがありませんように…と祈りたいと思います。



子どもの見えない気持ち



幼い子どもは自分の気持ちを言葉で伝えられないことがしばしばです。そんな時、その子なりの仕草や表情、行動で自分の気持ちを訴えていることがよくあります。普段のしぐさや、表情、行動などに子どもの心の声を読み取るためのヒントが隠されています。親や周囲の大人がこれらに気づいてしっかりと受けとめることで、子どもは「わかってもらえた」という安心感に満たされ、親や周囲の大人への信頼感を育てていくことでしょう。親子の会話や関わりを通して子どもの気持ちを理解することで、将来の芽を伸ばすこともできるのです。

【泣いたり叫んだりする】



《クールダウンするのを待ち、ゆっくり見守ろう》

原因としては思い通りにならない。相手に理解してもらえない。受容されない。などがあります。泣き叫んでいる時には気持ちが高ぶっているので、周囲の声が入りません。子どもがクールダウン（気持ちが落ち着く）するのを待って、子どもの話をよく聴き、「くやしかったんだね」「本当はやりたかったのにうまくいかなかったのね」と気持ちを代弁したり、共感したりしてみましよう。「泣くのをやめなさい!」というとますます興奮して泣き叫びが強くなる場合があります。

泣き叫んでいる時、子どもがクールダウンするまで待つことは必要ですが、その時、「もう知らない」と無視するのではなく、「お母さんはここにいるからね」と伝え見守る姿勢が大切です。

【すねる】

《時には要求が通らないこともあることを教えよう》

思い通りに行かない、理解してもらえない、他の子と比較されて劣っていると評価された時などにすねるという表現をする子どもがいます。中には、自分に注目を集めるためにすねることもあります。「甘えを受容する」のではなく、大人の都合による「甘やかし」の中で育ってきた子どもは、自分の要求が通らないとすぐにすねたり、些細なことで怒ったりすることが多く見られます。



子どもがすねた時に子どもの要求を受け入れれば子どもの機嫌はよくなるかもしれませんが、それはその場限りのものです。とくに、物欲はエスカレートしがちで、次第に要求が通らないと暴力を振るうようになるケースもあります。したがって、すねるからといって全ての要求を受け入れるのではなく、要求の通らないこともあることを子どもが学び、がまんする力を培うことも大切です。

【あばれる】



《常に子どもの様子を観察し、荒れる前兆に注意しましょう》

自分の思い通りにならない時、言葉でうまく表現できずに暴れたり、相手の都合や考えが優先されて自分の気持ちを受け止めてもらえなかった場合に、カッとなって手が先に出てしまう事があります。子どもが荒れる時にはその前兆として、ふさぎこんでいる、イライラしている、無口になるなど何らかのサインが出ている事も多くあります。普段から子どもの様子をよく観察し、普段と違う状態があるかどうか気をつける事も大切です。



暴れて危険を伴う場合にはすぐに、その場で体をはって止めに入る必要があります。そして気持ちがクールダウンした時に、よく子どもの話に耳を傾けたり、言葉でうまく伝えることが難しい場合はヒントになる言葉を子どもに伝えながら子どもが自分の気持ちを伝えることができるように導いて下さい。



育ちの相談室



子どもの様子を見て「えっ?」「なぜ?」「大丈夫?」と感じて悩むことはありませんか? 気軽にちょっと尋ねてみたい…。という方参加してみませんか。専門機関の方も一緒に話をお伺いしながら子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

手先を使うことが
にがて…。

おともだちとじょうずに
あそぶのがにがて…。

日時：令和4年7月19日(火) 10:00~12:00

場所：時津町子育て支援センターこばとの家

対象：0歳から就学前のお子さまのいる親子

参加ご希望の方は子育て支援センターこばとの家へ
お申し込みください。当日参加も可能です。

ひとつのあそびに集中できない…

ことばがなかなか
でてこない…。